

ネイティブ大腸菌チオレドキシン還元酵素

Cat. No. NATE-0718

Lot. No. (See product label)

はじめに

概要 チオレドキシン還元酵素 (TrxR) は、酸化型チオレドキシン (Trx) の活性部位のジスルフィドを還元する、1つのFADを含むNADPH依存性酸化還元酵素です。哺乳類由来のアイソザイムの分子量は、原核生物、植物、酵母の35 kDaと比較して、55-67 kDaの範囲で異なります。哺乳類酵素の基質特異性は、原核生物酵素よりもはるかに広く、哺乳類およびE. coliのチオレドキシン、さらにはセレンウム酸塩、リポ酸、脂質過酸化物、水素過酸化物などの非ジスルフィド基質を還元します。

用途 大腸菌由来のチオレドキシン還元酵素は、Cysベースのチオールペルオキシダーゼのペルオキシダーゼ活性を評価するためのペルオキシダーゼ連結チオレドキシンシステムアッセイに使用できます。この製品は、His6-Ahp1pの酵素活性を測定するために使用されました。

別名 NADP-チオレドキシン還元酵素; NADPH-チオレドキシン還元酵素; チオレドキシン還元酵素 (NADPH); NADPH2:酸化チオレドキシン酸化還元酵素; チオレドキシン-ジスルフィド還元酵素; EC 1.8.1.9; TrxR

製品情報

由来 大腸菌

形態 硫酸アンモニウム懸濁液; 3.6 M (NH₄)₂SO₄中に30 mMのリン酸カリウム緩衝液、pH 7.5、2 mMのEDTAを含む懸濁液。

EC番号 EC 1.8.1.9

CAS登録番号 9074-14-0

活性 >25 ユニット/mg タンパク質 (ブラッドフォード)

単位定義 1単位は、pH 7.0、25°CでE. coliチオレドキシンとDTNBを用いた結合アッセイで測定した場合、412 nmで1分あたり1.0の吸光度の増加を引き起こします。

保管・発送情報

保存方法 2-8°C